

中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

試験方式	転科・転籍・編入学
学部（学科/専攻）	法学部
科目	英語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

【解答・解答例】

設問 I.

問1 (1) 解答例

もちろん最初の人物は、衣服や他の視覚的手がかりから、第2の人物に関して知的な推測をおこなうことができるが、その人の社会的背景について直接尋ねることはほとんど不可能であり（イギリスにおいてそれはあてはまり、他の場所においては必ずしもそうではない）、少なくともこの段階の関係においては不可能である。

問1 (2) 解答例

これらのことは、他者が述べることよりも、むしろそれがどのように述べられたかということから学びとられるであろう。なぜなら、私たちが話をするときにはいつでも、私たちの出自や私たちがどのような種類の人物であるかについての手がかりを、聞き手に伝えざるを得ないからである。

問2 解答例

言語は、第一に、他者との間に社会的関係を確立しそれを維持する手段であり、第二に、話者に関する情報（職業、社会的地位等）を伝達する機能を有している。

設問 II.

問1 要約問題のため、以下の(1)~(4)の各項目を解答の評価のポイントとして提示する。

(1) 内容把握（以下①~④の4要点が入っていること）

① The causes and current situation of global warming

② Risks of exceeding climate tipping points and their potentially serious impacts on the global environment

③ Targets for limiting temperature rise and recent positive developments that can help address climate change

④ The urgent need to take stronger and swifter action against climate change

(2) 構成

(3) 文法・語法：文法的正確さ、語順、語法など

(4) 語彙・綴りの正確さ：適切な語彙選択、語彙の豊富さ、スペリングの正確さ

問 2 解答例

COP30 needs to take immediate action to prevent climate tipping points from being crossed.

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	転科・転籍・編入学
学部（学科/専攻）	法学部
科目	英語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

設問 I.

問1 下線部の英文の構造を正しく理解し、その内容を、文章全体の流れに沿って、日本語でわかりやすく表現することができるかどうかを評価する。

問2 内容把握に関する記述問題においては、下線部の内容について要点を把握し、それを論理的に日本語で説明できるかどうかを評価する。

設問 II.

問1 文章の正しい内容理解に基づいて要点を把握し、それを英語で論理的に説明できるかどうか、その際に自らのことばを用いて（＝パラフレーズのスキル）行うことができるかどうかを評価する。英文を書く際に必要な英語の文法知識と語彙力も評価する。

問2 和文英訳においては、基本的な語彙や動詞型、コロケーションの知識があるかどうか、そしてそれらを用いて英語の文を正しく構築できるかどうかを評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

試験方式	法学部 三年次転籍・編入学試験
学部（学科/専攻）	法学部
科目	法学-法律学の基礎に関する論述試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

【解答・解答例】

過失責任主義とは、他者の権利または法律上保護される利益を侵害する不法行為において行為当事者の故意もしくは過失が存在しないならば、行為当事者に賠償責任を問うことはできないという考え方である。日本民法における根拠条文としては民法第 709 条が挙げられる。

この立場は、行為当事者に行為の責任が問われる範囲を、行為当事者が予見したか、予見すべきであった範囲に限定することにより、自由な経済諸活動を広く認めるべきだという考えに基づいていると考えられる。

しかし、現代の広範囲に及ぶ経済諸活動においては、責任の範囲を故意もしくは過失が存在した場合のみ限定することは、被害者の公平な救済のために有効ではなく、損害を発生させた者が無過失の場合においても、責任を負わせるべき場合が存在すると考えられるようになる。このような事例として具体的には、製造物責任法が挙げられる。本法においては、製造物の欠陥により人の生命、身体又は財産に係る被害が生じた場合、故意および過失の有無にかかわらず、製造業者等には原則として賠償責任が生じるとされ、当該製造物をその製造業者等が引き渡した時における科学又は技術に関する知見によっては、当該製造物にその欠陥があることを認識することができなかった場合等の例外的な場合にのみ賠償の責任を免れるとされている(製造物責任法第 3 条および第 4 条)。

※無過失責任の具体例は、出題の趣旨に沿っていれば、製造物責任法以外の法でもよい。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	法学部 三年次転籍・編入学試験
学部（学科/専攻）	法学部
科目	法学-法律学の基礎に関する論述試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

評価にあたっては、知識の量や確かさ、文章が論理的な構成になっているか、適切な表現を用いているか等の視点から評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

試験方式	3 年次編入学試験
学部（学科/専攻）	法学部
科目	政治学の基礎知識

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

【解答・解答例】

(総論的な解答例)

民主主義の基本原理の一つは国民主権であり、政治のあり方を決定する最終的な権力は国民にある。また、古代ギリシアの民衆支配、民主政はデモクラシーの起源であるが、アリストレスが指摘したように、民衆支配は衆愚政の危険性を孕んでおり、民主政には否定的なイメージもつきまとった。ここから、政治は哲人が担うべきである、という考え方が生まれた。

近代では、マックス・ウェーバーが『職業としての政治』において、職業政治家と官僚という、異なるタイプの専門性を持って政治にかかわる存在を論じた。ウェーバーは官僚について、専門的な教育によって培われた高度な知識を持ち、その専門性をもって国家機構の運営を支える専門家集団であり、党派性を持たず、政治的な闘争から距離を置く存在として位置付け、政治家とは異なる、専門性に基づく責任を論じた。

近年、民主主義の実現に関し、重要な意思決定における国民の直接の参加の必要性が強調される一方、複雑化、高度化する政策課題に対し、より高い専門性を持って問題解決にあたることの必要性、重要性も論じられてきた。主要政策課題の方針決定に対して国民の意思を問う国民投票、さまざまな意思決定の場面で国民の参加を促す討議型デモクラシー、専門性が必要とされる技術的な場面においても一般的な市民感覚を反映することの重要性を強調することから始まった予算編成過程への市民参加の導入などがある一方、「一般的」な知識や感覚では解決が容易でない多くの新しい政策課題の出現に対応するため、さまざまな「専門性」の必要性、重要性も認識されるようになってきた。

今日、世界的に問題となっている環境やエネルギー、人口動態の変化などに対応するためには、それぞれの専門知識を持って政策提言、問題解決にあたる専門人材が必要である。また、AIの導入、活用など、高度な技術革新に対応するためには、それらの分野に精通する専門人材の関与が不可欠であるが、この点は官僚制の専門性をもってしても十分に専門性が担保されているとはいえない状況である。

(この設問に対しては、歴史的な解答、今日的な解答、理論的な解答、個別政策に基づく具体的な解答など、複数の解答パターンが想定される)

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	3年次編入学試験
学部（学科/専攻）	法学部
科目	政治学の基礎知識

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

本設問に対しては、歴史的な解答、今日的な解答、理論的な解答、個別政策に基づく具体的な解答など、複数の解答パターンが想定される（したがって、解答例は文字通り「例」である）。出題者として確認したいのは、受験者が「デモクラシー」の本質をどの程度理解しているか、それをめぐる議論をどの程度把握しているか、特に、一般市民の参加に基づく「民主政」と、為政に必要な「専門性」をどのように理解しているか、である。

したがって、解答のパターンは多数あるが、上記のようなポイントのうち、必要最低限の事項を把握しており、かつ、それらを論理的に説明出来ているかどうか、がチェックポイントとなる。